記者発表資料

平成24年11月2日
東北地方整備局
秋田河川国道事務所

日本海東北自動車道

金浦（このうら）ＩＣ～仁賀保（にかほ）ＩＣ～にかほ市両前寺間（りょうぜんじ）が開通し、渋滞緩和や救急搬送に効果を発揮（速報）

日本海東北自動車道のにかほ市金浦（このうら）から同市両前寺（りょうぜんじ）までの区間（Ｌ＝８．２km）が、平成24年10月27日午後3時に開通しました。
この度、開通直後の交通量や国道7号（前田交差点）の渋滞状況、救急搬送の利用状況についてとりまとめましたのでお知らせします。

1．交通量について

■国道7号の交通量は、**日本海東北自動車道への交通転換により約7割に減少**しました。

地　点	開通前：H24.10.24（水）	開通後：H24.10.31（水）	備　考
日本海東北自動車道 金浦IC～仁賀保IC間	－	6,680台	
国道7号	17,480台	12,190台	約7割に減少

※交通量は午前7時から午後7時までの12時間交通量

2．交差点の渋滞状況について

■国道7号（前田交差点）において、**平日の朝夕ピーク時の渋滞が大幅に緩和**されました。

地　点	開通前：H24.10.24（水）	開通後：H24.10.31（水）	備　考
国道7号（前田交差点） 秋田方向	1,700m （朝方ピーク時）	150m （朝方ピーク時）	渋滞長 1,550m短縮
国道7号（前田交差点） 象潟方向	1,500m （夕方ピーク時）	190m （夕方ピーク時）	渋滞長 1,310m短縮

※朝方ピークは午前7～9時、夕方ピークは午後5～7時

【topic】

■開通区間において、10月30日までの**3日間で6件の救急搬送で利用**されました。

※にかほ市消防本部へのヒアリング結果

（発表記者会：秋田県政記者会）

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
TEL　018－823－4167（代表）
副所長（道路担当）　今野（こんの）　敬二（けいじ）　（内線205）
調査第二課長　田村（たむら）　寿（ひさし）　（内線451）

【開通直後】日本海東北自動車道 金浦IC～仁賀保IC ～にかほ市両前寺が開通して

（平成24年10月27日開通）

①国道7号の交通量が約7割に減少
②国道7号（前田交差点）の渋滞長が 1，700m→150mに緩和





●国道7号の交通量が約7割に減少

開通前	国道7号 ：17，480台/12時間 高　速 ：　－	→ 開通後	国道7号 ：12，190台/12時間 高　速 ：6，680台/12時間

※午前7時～午後7時までの12時間交通量

●国道7号（前田交差点）の渋滞長が大幅に緩和

開通前	朝ピーク：1，700m（秋田方向） 夕ピーク：1，500m（象潟方向）	→ 開通後	朝ピーク：150m（秋田方向） 夕ピーク：190m（象潟方向）

※朝ピークは午前7～9時、夕ピークは午後5～7時

＜事業期間＞ 仁賀保本荘道路：平成12年度～平成24年度
象潟仁賀保道路：平成17年度～平成24年度
＜延　　長＞ 8.2km （象潟仁賀保道路：6.9km、仁賀保本荘道路：1.3km）
＜幅　　員＞12.0m（暫定2車）

【topic】開通後３日間で６件の救急搬送で利用。

《救急隊員の声》

■日本海東北自動車道は現道よりカーブが少なく、路面状態が良いため走行しやすく、傷病者への負担が軽くなりました。

■医療機関への搬送時間が短縮され、さらに日本海東北自動車道は信号交差点がないため安全確認の負担が軽減されました。

※にかほ市消防本部へのヒアリング結果より



▲開通区間を走行する救急車
（仁賀保IC付近）